

※詳しくは、詳細版をご覧ください。

学びのR

No. 27 (令和2年7月)
 埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform (改革)」の頭文字です

*** 「指導と評価の一体化」で授業改善① *** ~ 「小学校 外国語科・外国語活動」編 ~

* 今回は、「指導と評価の一体化」の視点から、実際の「やり取り」の例を参考に、評価規準を通して活動を振り返り、記録に残す評価の方法について確認していきたいと思ひます。

埼玉県マスコット「コバトン」

実際の「やり取り」の例をみよう！

1回でなく、複数の活動場面による児童の状況から、「粘り強い取組を行おうとしている側面」や「自らの学習を調整しようとする側面」も見取ろう！



児童1と児童2のやり取り

児童1: Hello! 児童2: Hello.
 児童1: …、なんて言うんだったかな。
 (指導者に教えてもらって)
When ... is birthday, your birthday?
 児童2: My birthday is July 21th.
 児童1: OK! えーっと、
Do you like ... swim?
 児童2: Yes, I like swimming.
 (カードに記された水泳、猫、青い机のイラストを見て)
 児童1: OK, swimming.
 えーっと、Do you like cat?
 児童2: Yes, I do. Do you like cats?
 児童1: No.
 児童2: What animal do you like?
 児童1: ... 児童2: Do you like dog?
 児童1: Yes. Color, blue.
 Do you like blue?
 児童2: Yes, I like blue.
 児童1: えっと、present?
Birthday present?
 児童2: I want a blue desk.
 児童1: OK. Blue desk! Birthday card.
 Here you are.
 児童2: Oh, thank you.
 児童1: OK.

児童2と児童3のやり取り

児童2: Hello! 児童3: Hello!
 児童2: When is your birthday?
 児童3: My birthday is February 2nd.
 児童2: (カードに記された野球のボールとバット、黄色、犬のイラストを見て) Baseball, do you like baseball?
 児童3: Yes, I do. I like baseball.
 児童2: Me, too.
 児童3: Nice. I like Ohtani Shohei.
Do you like Ohtani Shohei?
 児童2: Yes, I do.
 児童3: Ohtani Shohei is great.
 児童2: Yes, yes. Do you like yellow?
 児童3: Yes, I do. How about you?
 児童2: No, I don't.
 児童3: What color do you like?
 児童2: I like blue. Do you like blue?
 児童3: Yes, I like blue, too.
 児童2: Birthday present, what do you want?
 児童3: Dog! I want dog.
 児童2: Oh, do you like dog?
 児童3: Yes, yes. I like dog.
Do you like dog?
 児童2: No. I like cats.
 児童3: OK. Good.
 児童2: Birthday card, here you are.
 児童3: Thank you.
 児童2: You're welcome.

活動が終わったら、本時のねらいに照らして具体的な場面から児童を称賛します。先生からの「直接の評価」が児童の「自己肯定感」を高めます！



児童3と児童1のやり取り

児童3: Hello! 児童1: Hello!
 児童3: When is your birthday?
 児童1: December ... 10th.
 児童3: Oh, your card.
 (カードに記されたチョコレート、青い色の靴、バレーボールのイラストを見て)
Do you like chocolate?
 児童1: Yes, I do. Chocolate, good!
 児童3: Me, too. I like chocolate.
 児童1: Me, too. Me, too.
 児童3: Do you like blue?
 児童1: Yes. Blue! You?
 児童3: I like yellow.
 児童1: ああ、Yellow.
 児童3: Yes, I like yellow.
Do you like volleyball?
 児童1: Yes, volleyball, good.
 児童3: I like baseball.
Do you like baseball?
 児童1: Baseball? No.
 児童3: OK, I like Ohtani Shohei.
 児童1: Oh, Ohtani. OK.
 児童3: Birthday present, what do you want?
 児童1: Birthday present, ... bag.
Bag.
 児童3: Bag. What color?
 児童1: Color?
 児童3: Red, yellow, blue...
あつ、Blue bag?
 児童1: Yes, blue bag.
 児童3: OK. Birthday card, here you are.
 児童1: OK, thank you.
 児童3: You're welcome.

※「やり取り」の中の下線は、記録に残す評価のポイントとなる部分です。次のページの「3人の児童の様子」とリンクしています。

単元の目標を確認する

バックワード・デザイン（ゴールからの逆算）で指導と評価の一体化を図ろう！

埼玉県マスコット「さいたまっち」

本時の評価規準を確認する

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

◎自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。【思考・判断・表現】＜行動観察＞

◎自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】＜行動観察＞

本時の評価規準を通して3人の児童の様子を振り返ってみよう！

- ◎ 十分満足できる
- 概ね満足できる
- ▲ 努力を要する

p.54

児童1

【主体的に学習に取り組む態度】

- 自分のことを伝えようとしていたり、相手のことを知ろうとしていたりしている
- 粘り強く会話を続けようとしている

【思考・判断・表現】

- ▲相手の発言に繰り返すだけのことが多い
- ▲既習の語句や表現を活用できていない
- ▲相手に質問できていない

【主体的に学習に取り組む態度】

- 自分のことを伝えようとしていたり、相手のことを知ろうとしていたりしている
- 粘り強く会話を続けようとしている

【思考・判断・表現】

- 既習語句や表現を使って、尋ねたり、答えたりできている

児童2

【知識・技能】（本時の評価規準には、設定していない）

○やり取りに必要な技能を身に付けている ※下記の総括表に反映

児童3

【主体的に学習に取り組む態度】

- ◎自分のことを伝えようとしていたり、相手のことをよく知ろうとしていたりしている
- 粘り強く会話を続けようとしている
- ◎相手の発言に対して、適切に応じようとしている

【思考・判断・表現】

- ◎モデルだけに頼らず、野球のことなどの自分の好きなことを相手にわかりやすく伝えている
- ◎相手が発言しやすくなるように適切に尋ねたり、相手の問いかけに対して、丁寧に応じている

p.57

評価を総括してみよう！

児童の変容を見取ることが重要です。

本単元における「話すこと【やり取り】」における評価の総括 p.57_部分一部変更

観点	知識・技能		単元における評価	思考・判断・表現		単元における評価	主体的に学習に取り組む態度		単元における評価
	第6時	(第7時)		第7時	第7時		第7時	第7時	
評価場面	第6時	(第7時)		第7時	第7時		第7時	第7時	
評価方法	行動観察 ACT2	行動観察 ACT2		行動観察 ACT2	行動観察 ACT2		行動観察 ACT2	行動観察 ACT2	
評価の内容	誕生日や好きなもの、欲しいもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。	誕生日や好きなもの、欲しいもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。		自分のことをよく知ってもらったり、相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。		自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	
児童1	b	-	B	c	C		b	B	
児童2	c	(b)	B	b	B		b	B	
児童3	a	-	A	a	A		a	A	

例えば、児童2の「知識・技能」については、本来の評価の場面は、前時（第6時）でした。本時（第7時）の「やり取り」においては、記録に残す評価の場面は設定していませんでした。しかし、「やり取り」を通して、「必要な技能を身に付けている」状況になったと、変容が見取れたので、本時の活動場面も加味し、「やり取り」の本単元における評価としています。

- c 「努力を要する」状況
- ↓
- b 「おおむね満足できる」状況
- ↓
- 本単元における評価は「B」

※下記の参考資料に、その他の領域の評価についての説明もあります。

引用 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
 小学校 外国語・外国語活動 国立教育政策研究所 から引用して作成
 ※引用した部分は、ページ数を示してあります。(例 p.○○)
 参考 埼玉県小学校教育課程指導・評価資料 埼玉県教育委員会

「学びのR」
 はこちらからも御覧いただけます！

